

♪ 《にじ》新沢としひこ作詞 中川ひろたか作曲

《世界中のこどもたちが》他、多くの幼児向き作品の名曲を持つ新沢としひこ(1963-) & 中川ひろたか(1954-)コンビにより、1990年に作られました。《エビカニクス》で有名なケロポンズのケロこと増田裕子(1961-)が、当時中川ひろたか・福尾野歩と結成していた親子向けバンド「トラヤ帽子店」(1987年～)にて発表。1999年のケロポンズ結成後も歌っていました。雨が降っても、ずっとは続かない、いろいろあってもきっと光がさして虹がかかり「きっとあしたはいい天気」と肩の力を抜いて歌える歌で人気です。

♪ 《オオカミの大しくじり》川崎大治作詞 猪本隆作曲

昭和59年、50歳の時の作品です。猪本の言葉「語り歌曲の第一作目の作品で、詩のユーモラスな語り口を、すなおに音楽にすることが出来たように思う。(中略)外国でも何回か演奏され、言葉のよくわからない外国人でさえ、吹き出す程のこっけいな、分かり易い曲になりました。」【田中純】

♪ 《くじらのとけい》関和男作詞 渋谷毅作曲

人気曲《あ・い・うー》ほか多くの子どもの歌や『潮騒』『はだしのゲン』『俺はいなかのプレスリー』『嫌われ松子の一生』他、映画音楽も多く作ったジャズピアニスト、作曲家、編曲家の渋谷毅(1939-)の作曲です。「くじら」と「九時ら」をかけたダジャレが楽しい、軽快な曲です。

♪ 《たなばた》権藤花代作詞 林柳波補作 下総皖一作曲

東京芸術大学教授の下総皖一(1898-1962)が作曲し、1941(昭和16)年3月、文部省発行の「うたのほん 下」に掲載された唱歌です。短い曲ですが、笹の葉に短冊が飾られている七夕の様子や、天の川の様子が表現されています。「七夕」の話は、中国の話ですが、実際に、織姫であること座のベガと、彦星であるわし座のアルタイルが、天の川を越えて接近することはありません。世界中に七夕のような星物語が作られています。

♪ 《星めぐりのうた》宮沢賢治作詞・作曲

宮沢賢治(1896〈明治29〉-1933〈昭和8〉)の作詞作曲によるものです。童話『注文の多い料理店』『セロ弾きのゴーシュ』『よだかの星』や小説『銀河鉄道の夜』、詩「アメニモマケズ」「永訣の歌」などで知られる賢治ですが、音楽についても造詣が深く、レコードを多く蒐集しており、特にルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-182)やアントニン・レオポルド・ドヴォルザーク(1841-1904)の曲をよく聴いていたそうです。花巻農学校教員時代(1921-1923)には生徒のために作曲もしました。

本作の詩は『双子の星』『銀河鉄道の夜』などに掲載されています。これまで、賢治の出身地の岩手県花巻周辺の列車内のチャイムや発車音や駅の音楽としてもしばしば使われま